

二水NSH通信

平成26.12.22発行

No. 5

冬北斗の如く

厳しい冬の訪れが予感される向寒の候、保護者の皆さまいかがお過ごしでしょうか。

冬北斗とは、「澄み切った冬の空の高みに、凜として輝く北斗七星」に由来する冬の季語です。人文科学・自然科学両コースの生徒達も、11月の研修旅行、グローバルセミでの課題探究の英語での発表(人文)・12月のSSH合同発表会での課題探究発表(自然)、NSH成果発表会での1年生に向けた課題探究発表(人文・自然)といった今年度の「メインゴール」を、一人ひとりが大きな成果を収めつつ決めることができました。それらの「凜とした輝き」を大切に、この冬にさらなる「高み」を目指して頑張ってくれたいと信じています。



pic.baike.soso.com



「成果発表会を始めます！」(中嶋君)



SSH合同発表会での生物班による発表

人文科学コースの様子

●1泊2日で「まほろば研修」●



大阪大学文学部での模擬授業



明日香村班別自主研修(サイクリング)

●グローバルセミで金大留学生と英語で交流●

8班に分かれて、様々な国の留学生を校舎案内と授業見学にエスコート。会議室では、各班毎に4月から取り組んできた課題探究の内容を英語で発表しました。そうして打ち解けた後は、自己紹介やお互いの国や文化についての話が弾みました。



積極的な質問にも英語で対応



テーマは「異文化の壁」。ディスカッションの様子

自然科学コースの様子

●1班2日のサイエンスツアー●



阪大理学部での模擬授業・実験実習



卒業生と語る会(本校卒業生で現役の阪大生達と)

●RS課題探究校内発表会・校外発表会●

校内発表会において選ばれた代表3班は、SSH合同発表会で生物班「イチゴが植物に及ぼす影響」が口頭発表、その班と他の2班(物理班と数学班Ⅱ)がポスター発表を行いました。他校の生徒からの質問に対する生物班の岡田君の対応力が講評で高く評価され、誇らしかったです。



物理班「消音システムの構築」



数学班Ⅱ「記号論理学」